

原案

議案
第137号

一般会計補正予算 (第8号)

【主な提案内容】

- ・消防団（名和第3分団）の可搬車をポンプ車に更新

質疑

ポンプ車購入

計画性

可搬車

〔西山議員〕

①ポンプ車購入と総合計画との整合性は。当初予算ではなく補正予算になった理由は。

②購入は町の提案か、団の要望か。

③★可搬車の機能も有しているか。

④競技用のポンプ車購入を予定しているとの話だが。

〔総務課長〕

①古い消防車から順次更新する計画。国の3次補正の場合併補助金を利用するため。

②団からの要望。

③有している。

④操法大会が前提の購入ではない。

〔竹口議員〕

①購入までに消防団の幹部会で相談がなかったのか。

②大震災以後、町の防災対策・組織を見直したのか。

③町の総合計画で消防車を毎年更新する計画。具体的な内容は。

〔総務課長〕

①消防車購入の話はしていたが、仕様などの詳細は相談していない。

②防災計画の見直しはほとんどの作業を終え、最終チェック段階。

③古い消防車から順次更新する計画である。

〔岩井議員〕

初期消火という点から、可搬車は必要なのか。

〔総務課長〕

可搬車はどうしても必要というものではない。せまいところでも、ポンプ車で現実に対応している。



【可搬車（かはんしゃ）】
可搬式動力消防ポンプを搭載した消防車。車とポンプが一体ではないため、消防ポンプだけを持ち運んで使用できます。
(5ページに写真)

修正案

提案者：竹口議員

【主な提案内容】 現在進行中の防災計画の見直しが完了してからでないか、どの程度の災害を想定して、どの程度の備えをすればよいか判断ができない。防災計画の見直しが完了してから、改めて消防ポンプ車購入を検討すべきである。

討論

〔原案賛成〕

…西山議員

名和の消防団は、御来屋大火があったときなどに、献身的な活躍をした。

もしも、ポンプ車購入を否決したら、名和の消防団は解散するかもしれない。

国の3次補正予算で補助金が使えるチャンスを生かした提案だ。備えあれば憂いなし。消防ポンプ車を購入すべきである。

〔修正案賛成〕

…西尾議員

新しい防災計画があと少しでできるのなら、消防設備購入などはその後を検討すべき。町の防災全体を総合的に考える必要がある。

単に古い順から更新という発想ではなく、ほかに必要なものがないか検討し、必要なものがあれば、更新は1年程度待ってもよいと考える。

〔修正案反対〕

…椎木議員

平成24年に購入計画があった。可搬車からポンプ車への移行は、消防能力の向上につながる。

購入を否定することは、名和第3分団の意志を否定することになる。古い消防車から順に更新することになっており、修正案は消防団との信頼関係を損なうものだ。

原案賛成議員

西山 鹿島 椎木 小原 足立 吉原 池田 杉谷 米本

原案反対議員

岡田 諸遊 岩井 西尾 近藤 野口 大森 竹口

原案可決

★17人で採決（野口俊明議長は採決に加わりません）